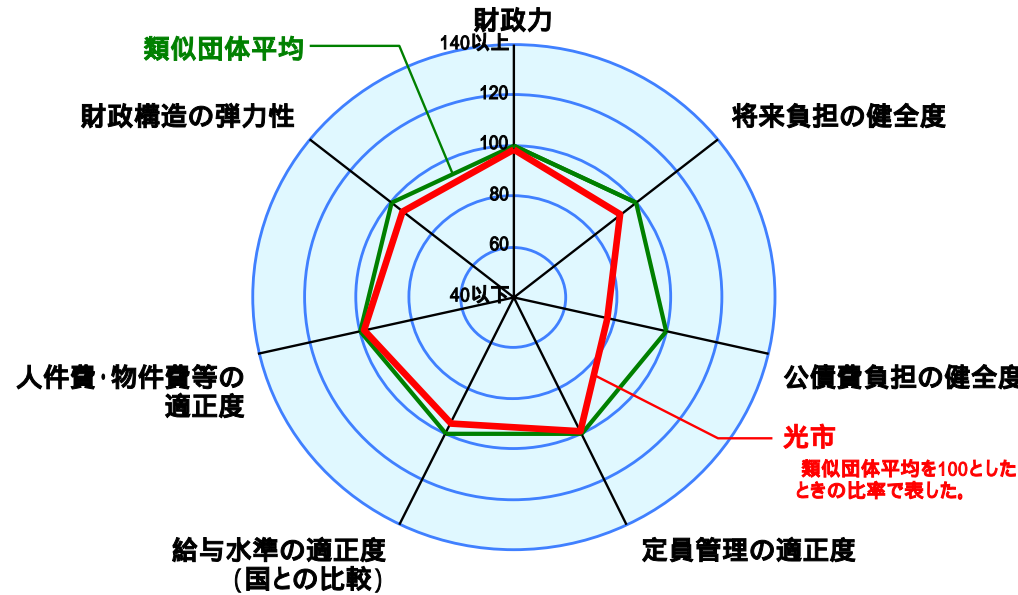
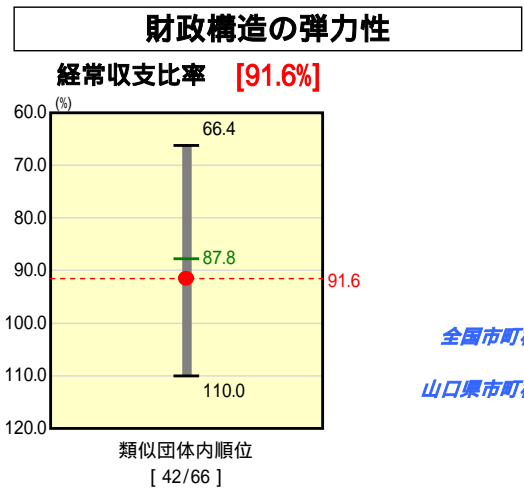
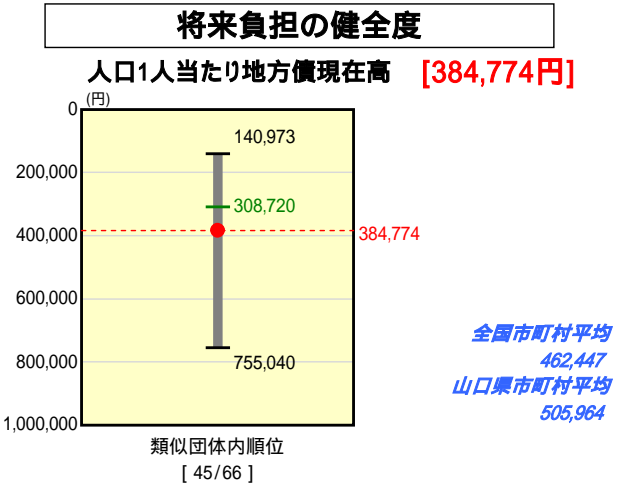
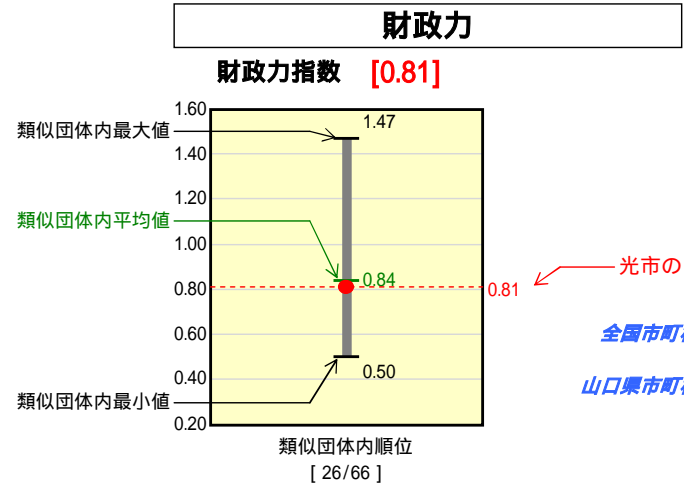


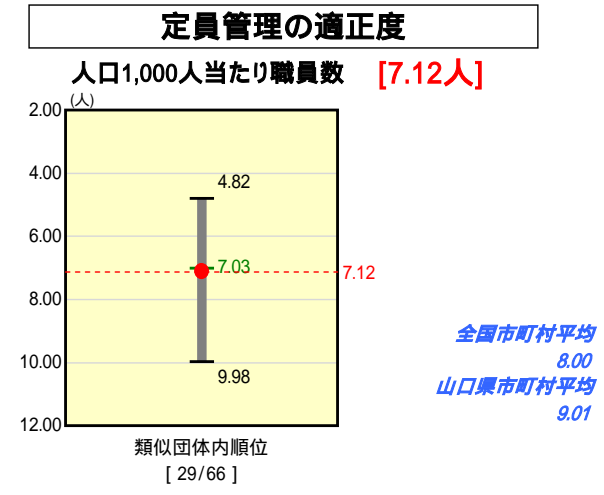
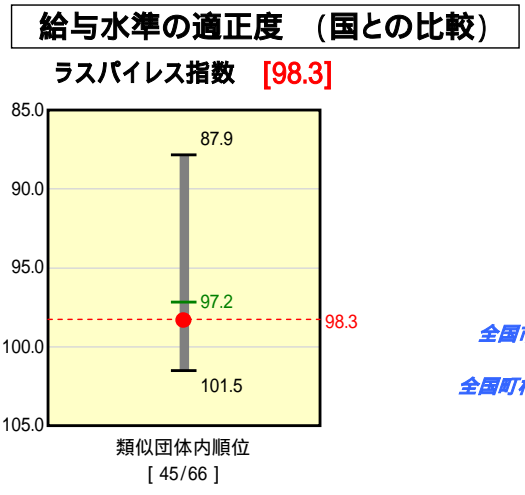
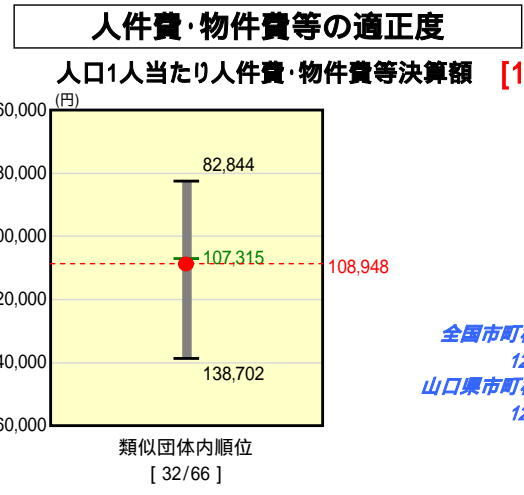
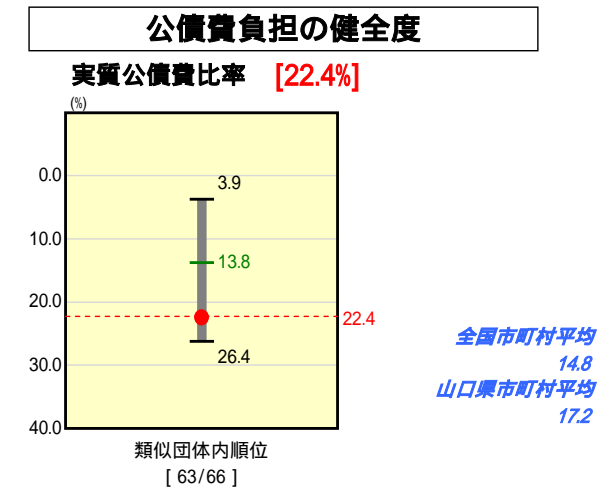
# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 山口県 光市

人口	55,307人	(H18.3.31現在)
面積	91.94	km <sup>2</sup>
歳入総額	20,364,944	千円
歳出総額	19,444,269	千円
実質収支	878,588	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**(財政力指数)**  
類似団体の平均を下回っているが、大型事業所を中心とした業績好調による法人市民税の増加などにより、前年度に比べ改善されている。今後とも、財政基盤強化のため、市税等の収納率向上対策(5年間で1%)を中心とする歳入確保などに努める。

**(経常収支比率)**  
市税の増加や人件費の減少などにより前年度に比べ、1.7ポイントの改善となっているが、依然として類似団体の平均を上回っており、財政の硬直化が進んでいる。今後とも、歳出の徹底的な見直しなど行財政改革に取り組み、目標とする「平成21年度末90%以下」の達成に努める。

**(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)**  
類似団体の平均を上回っているが、職員数の減少や歳出削減の取り組みなどにより人件費、物件費とも減少傾向にあり、今後とも内部事務経費や指定管理者制度による施設維持管理経費などの削減に努める。

**(ラスバイレス指数)**  
国の水準を下回っているものの、類似団体の平均を上回っている。今後とも、各種手当ての総点的な点検や給与制度・運用・水準の適正化に努める。

**(人口1人当たり地方債現在高)**  
前年度に比べ、1人当たり10,537円少なくなっているものの、類似団体の平均を上回っている。市債残高は、平成14年度をピークに減少傾向にあり、今後とも事業の厳選を行い、新規の市債発行の抑制に努め、目標である「平成21年度末の市債現在高210億円」を目指す。

**(実質公債費比率)**  
類似団体の平均を大きく上回っているが、これは公営企業や一部事務組合に係る市債の償還がピークを迎えたことが大きな要因となっている。このため単独事業の縮減などにより、市債の発行を抑制し、5年以内の18%未満の達成を目指す。

**(人口1,000人当たり市職員数)**  
全国市町村の平均は下回っているが、類似団体と比較した場合には、若干上回っている。定員の適正化については、従来から事務事業の見直しや組織の合理化など、適正な組織体制の整備に努めており、職員数の削減に一定の成果をあげている。今後とも効果的、効率的な職員配置を進めながら、定員適正化計画の目標である「5年間で10%(44人)の削減」の達成に努める。